

<全体分析>

試験時間 100 分

解答形式

記述式, マーク式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年同様に思考力を要する問題が出題された。

その他トピックス

全体の問題数及び、記述・論述・計算問題の出題割合に大きな変化はなかった。医薬品 (アセトアミノフェン, イブプロフェン, ロキソプロフェン) を題材とする問題が出題された。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	空欄補充 選択 記述 計算 論述	理論 無機	化学	電池・電気分解, 無機物質 (銅, 硫黄)	やや易
2	選択 計算 論述	理論	化学	混合気体, 蒸気圧, 溶液	標準
3	空欄補充 選択 記述 計算 論述	理論 無機	化学	化学平衡, 化学反応とエネルギー, 無機物質 (窒素, 気体の性質と製法)	標準
4	記述 計算	有機	化学	元素分析, 芳香族化合物の構造決定, オゾン分解	標準
5	空欄補充 選択 記述 計算 論述	有機	化学	合成樹脂, 合成ゴム, イオン交換樹脂, アミノ酸, ペプチド	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数多くの演習問題を解いて、思考力と計算力を培おう。また、目新しい題材が取り上げられることも多いので、問題文を正確に読み取る力を養おう。さらに、論述問題対策も十分にしておこう。